

上田西 3年ぶり準決勝へ

主力離脱の逆境はねのけ総合力で逆転勝利

千西一遇

号外

号外(第96号)

発行

2022年

7月25日(月)

上田西高校
新聞委員会
編集局

編集局長:藤田珠寿

新聞委員長:辺見咲良

大河内ひかり

樋口 華

生徒会広報:清水孝太郎

上田西
上田染谷丘

010020301
110020000

4 7

全国高等学校野球選手権長野大会 準々決勝

戦評

7月23日(土)に第104回全国高校野球選手権長野大会の準々決勝が長野オリンピックスタジアムで行われた。上田西は選手の体調不良により試合直前に大幅な登録変更を行い、同じ東信地区の上田染谷丘高校との試合に挑んだ。

試合は一回に先制を許すなど序盤は上田染谷丘のペースで進んだ。流れを掴みたい上田西は1対2の5回表、主将でこの試合3番で起用された小川隼弥(進学3年II春寛)が一時



5回からリリーフした権田は尻上がり調子で6回以降1人の走者も許さなかった 写真撮影=樋口華



7回表、勝ち越しとなる2点適時打を放ったバグミルザ ダナ 写真撮影=清水孝太郎

編集後記

硬式野球部の皆さん、準決勝進出おめでとうございませう。突然の非常事態で混乱や不安、多くあると思います。しかし選手皆さんは、今日の努力を重ね、辛いことや苦しい事に何度向き合ってきたのではありませんか。それを乗り越えてきた皆さんは強いのです！きつと大丈夫です。選手皆さんが頑張る姿

7対4で逆転勝利を収めた。選手の体調不良という非常事態で4回戦までのスタメン選手を含む大幅な登録メンバーの入れ替えを余儀なくされてしまった上田西だが、替わってベンチ入りを果たした選手達

5回表、一時逆転となる2点適時打を放った主将の小川(写真左)。この試合は2打数2安打3四球と全打席出塁して打点をマーク。盗塁も決めるなどチームの勝利に大きく貢献した 写真撮影=清水孝太郎(生徒会広報)